



○ 繰り返される

ポイ捨て！

ポイ捨てゴミが多
い下羽栗地区の堤防道路。そのゴミは道路沿いの草刈り時に拾われたり、町民による「町内一斉清掃」・「ポイ捨て

ゴミゼロ」などの取り組みで拾われたりしている。しかし、**ポイ捨ては**なくならない。推進会議委員や事務局員が時々巡回し、ごみを拾いながらその状況を見守る日が続いています。

○ 背後から声か

九月以降、米野の東海北陸自動車道高架下付近はきれいな状態が保たれるようになつてきました。道路脇の草や木が刈り取られ、ゴミを拾っていただく方も増えました。十二月、信号機の近くに屈みこみ、いつものようにゴミ



を拾っている時のことでした。背後から「**ありがとうございます**。」という女性の声。ふと仰ぐと、東方へ走行中の車窓に会釈されている顔。何かあったのかなと、まわりを見回す。人の姿はない。ゴミを拾いきれい

にしていることに対する一声だと気づいた時には、車はもう小さくなつていました。

一瞬のことでお顔を見ることもできませんでした。

しかし、**ポイ捨て**ゴミに心を痛め、この地をきれいにしたいと感謝のメッセージをいただいたと感じました。しばらく立ち尽くし、かけて

いただいた声をかみしめました。

○ ありがとうございます！

ゴミを拾う姿は、人にいろいろな思いを抱かせます。ポイ捨てする人への苦々

しい思い、何とかならないものかといういらだたしい思い、拾う人への感謝、自分**はポイ捨て**しないという決意など。

毎日、多くの車が行き交う堤防道路。その中の一部の**運転者**によるポイ捨て。繰り返されるポイ捨てに、あきらめがちな気持ちになることも。そんな時、あの「**ありがとうございます**。」の一言がよみがえる。「**ありがとうございます**」の一声は、なんと心を勇気づけることか。



車が行き交う堤防道路とポイ捨てゴミ拾い